

第4次国有林野事業流域管理推進アクションプログラム (霞ヶ浦流域)

1 流域の特色

- ① 本流域は、利根川広域流域の中の霞ヶ浦森林計画区であり、総面積（湖沼を除く）318千ha、国有林4千ha 民有林43千haで森林率は14.5%であり人工林48.5%・天然林39.1% その他12.4%となっており森林率は低く、そのほとんどが海岸砂防林や、平野部に広がる環境保全を主とした平地林であり、山間部の森林は、山地災害の防止と保健休養の場として利用され木材生産も実施している。
- ② この流域の森林における国有林の面積割合は8.6%と低いが、同国有林内には水郷筑波国定公園の筑波山及び加波山が存在することから、森林レクリエーション等保健休養の場として利用されている。
- ③ 地域の森林・林業は首都圏にあることから、大型市場が開設され、プレカット工場等が発達している。また、鹿嶋市に大型製材工場が完成し、今後は国産材を利用した集成材工場も計画されている。

2 流域内で優先的に取り組むべき課題

- ① 小規模な里山の平地林が多く、民有林では間伐が遅れているため間伐の促進のための高性能林業機械による作業の効率化の普及
- ② 温暖化対策を含めた森林の重要性のPR
- ③ 教育機関、NGO等への体験林業の実施と技術指導

3 国有林野事業に対する流域内のニーズ・要望

- ① 森林・林業の活性化
民有林と連携をとり国有林・民有林一体となった森林整備等の推進
- ② 下流住民に対する啓発普及
教育機関、NGO等への林業技術の指導及び森林整備の実施のためのフィールドの提供

4 国有林野事業が率先して行う取組

- ① 計画的な木材供給の推進
 - ア) 目標
流域での間伐の促進
 - イ) 連携・協力機関
県、霞ヶ浦流域森林・林業活性化協議会
 - ウ) 取組方向
列状間伐の普及
- ② 森林施業の効率化・共通化等の取組

- ア) 目標
国有林と民有林が連携した森林施業の効率化・共通化等の展開
- イ) 連携・協力機関
県、市町、森林組合、霞ヶ浦流域森林・林業活性化協議等
- ウ) 取組方向
列状間伐の普及に向けた関係機関との連携強化
- ③ 林業技術の開発・普及・啓発、林業事業体の育成
 - ア) 目標
新たな技術開発（列状間伐等）のための検討会の開催、緑の雇用等への協力
 - イ) 連携・協力機関
県、林業関係団体、霞ヶ浦流域森林・林業活性化協議会等
 - ウ) 取組方向
関係各機関と協力による研修会等の開催、フィールドの提供
- ④ 安全・安心への取組
 - ア) 目標
地域住民等に対する防災への情報提供
 - イ) 連携・協力機関
県、各市町
 - ウ) 取組方向
イベント等において治山事業のPRを行う。
- ⑤ 生物多様性保全に配慮した取組の推進
 - ア) 目標
生物多様性保全に配慮した針広混交林化の推進
 - イ) 連携・協力機関
霞ヶ浦流域森林・林業活性化協議会等
 - ウ) 取組方向
間伐等における広葉樹の積極的保存
- ⑥ 上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等
 - ア) 目標
教育関係機関と連携した森林環境教育の推進、企業によるCSR活動・ボランティアによる体験活動等
 - イ) 連携・協力機関
教育委員会、小中学校、NGO、霞ヶ浦流域森林・林業活性化協議会等
 - ウ) 取組方向
教育機関に対する講師の派遣、フィールドの提供

流域名・流域番号	霞ヶ浦（36）	担当部署	茨城森林管理署
計 画 期 間	平成22年4月1日～平成25年3月31日		